2班のおすすめする所

桐生天満宮

桐生天満宮は桐生市天神町一丁目にある神社です。入口の所に、鳥居があるのが目じるしです。鳥居を入ると本殿があり、10月上旬ごろから11月下旬ごろは七五三の参ぱい客でいっぱいになります。天満宮には学問の神様がいると言われています。

クイズです。天満宮で売られているお守りは約何種類でしょうか？
①数百種類 ②数千種類 ③数十種類 さあどれでしょう。正解は、③の数十種類です。合格願いや交通安全のお守りなどが売っています。天満宮に行ったさいにお守りを買ってはいかがですか？ 一番学生などが来ている時期は冬で初もうでの時に受験生などがいっぱい来ます。天満宮は最初のスタート地点として場所を移動しました。

天満宮にあるおみくじをひいたあとにむすぶひもがたくさんの参ぱい客がたくさん来て結んでいるので白いツリー状になっていてとてもキレイです。

←本殿

↑鳥居

藤屋本店

桐生の名所藤屋本店は、ひもかわうどんとソーツかつ丼があります。この二つは桐生の名物です。

ひもかわうどんの小麦は、群馬県の小麦プラスオーストラリアの小麦を使っています。うどんは横幅が五cm長さは五十cmです。

このひもかわうどんを使った藤屋の人気メニューは、カレーセイロひも川というカレーうどんです。辛さひかえめで、お肉がやわらかく、はば広い世代で食べられています。

ひもかわうどんとソーツかつ丼では、ひもかわうどんの方が人気です。

これから暑くなるので冷たいうどんがオススメです。

藤屋は、平日は五十人来て五十個、休日は、百五十人来て、百個も売れます。

人気メニュー
カレーセイロひも川→

藤屋おすすめメニュー

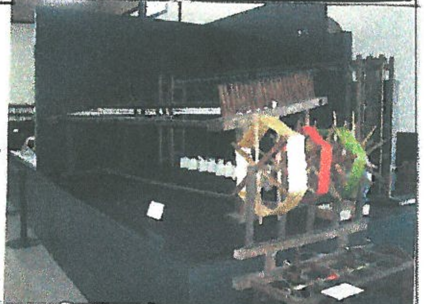
店長のこだわり

桐生市以外のお客さんもたくさん来るので、なるべくできたてをだせるように心がけているそうです。

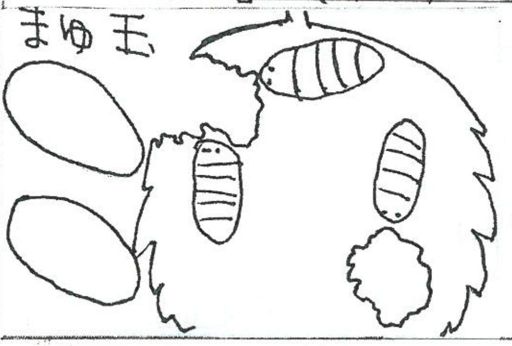
織物記念館

桐生織物記念館は、昭和8年にたてられました。桐生の織物が始まって一三〇〇年ですかいこは、一二〇〇m糸を発しています。ネクタイ、スカーフ、マフラーなどに使われています。生糸で着物やおび、おひなさまの着ている着物に使われています。作り方は、今も昔も変わりません。展示物は、五十個ほどあります。中には、布を織る道具があり、体験ができるようになっています

はた織り機→



桐生織は、一三〇〇年の歴史を持つ日本を代表する織物の一つです。伝統的な、技術と技法がと受継がれている桐生織物です。代表的な織物や歴史的な織物などが見学できます。桐生織物の持つ魅力がつまっているところなので、ぜひ行って見てください。



平成28年度　桐生市立境野中学校　第1学年　2組　2班